

大学生の職場体験記事でアルバイトを探す 大学生と求人募集中の飲食店をマッチング

¹杉本 翼・²福元 俊平・³市来 竜也・⁴宮園 葉月・⁵古賀 愛深・
⁶笠原 桜・⁷松本 晴佳・⁸湊 愛花音・⁹宇都 優梨

¹熊本大学 工学部 情報電子工学科 3年

²熊本大学 工学部 情報電子工学科 3年

³熊本大学 工学部 情報電子工学科 3年

⁴熊本大学 文学部 総合人間学科 2年

⁵熊本大学 文学部 コミュニケーション情報学科 2年

⁶熊本大学 文学部 コミュニケーション情報学科 1年

⁷熊本大学 文学部 コミュニケーション情報学科 1年

⁸熊本大学 文学部 コミュニケーション情報学科 1年

⁹熊本大学 文学部 コミュニケーション情報学科 1年

飲食店の学生アルバイトの人手不足は私たち学生にとって身近な問題です。我々は「Kumarism」として旅行情報サイトを運営しています。その活動の中で飲食店取材する機会が多くあります。そこでKumarismの活動を通してその問題を解決できないかと考えました。Kumarismメンバーが取材先の飲食店で職場体験を行い、その情報をウェブに掲載します。それを大学生独自のネットワークで拡散します。この手法のメリットは費用が0であること。私たちは無料で取材し、飲食店側は無料で大学生への求人募集ができるWin-Winの関係を築くことができます。また、SNSなど大学生独自のネットワークを活用することで、大手求人サイトにも劣らない求人を発掘することができます。アルバイトを探す学生にとっても、自分に合った職場を見つけることができます。利益目的の企業ではなく、ボランティアとして取材を行うKumarismの特徴を活かした事業だと言えます。

1. 政策提案の背景

我々は熊本県内の旅行情報サイト「Kumarism」を運営する学生団体です。熊本地震による観光客数の衰退を受け、熊本の旅行情報の核となるサイトの製作を主な活動として行なっています。その活動を行う中で、飲食店取材させていただく機会が多々ありました。その際に、お店の方から「学生アルバイトを募集中だから是非告知

してほしい」とチラシをもらうことが少なくありませんでした。

図1に大学生のアルバイトの探し方のアンケート結果を示しています¹⁾。アルバイトを探している学生のうち56%がウェブ求人サイトを利用すると答えています。そのため、大手ウェブサイトを利用していない飲食店では求人方法が限られてしまいます。

この問題を我々が運営している旅行情報サイトと連携させて解決できないかと考えました。

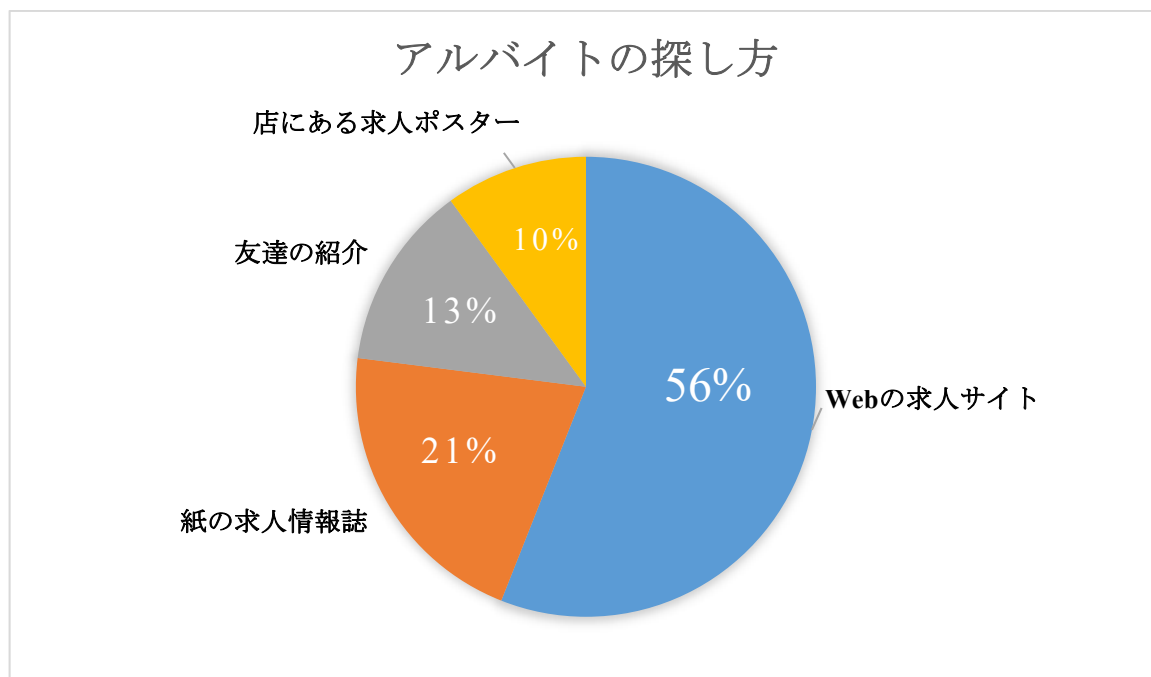


図 1 アルバイトの探し方

2. 政策提案によって解決したい課題

(1) 求人サイトの情報量の少なさ

学生アルバイトに多いのが、想像していた仕事と実際の仕事のギャップによる早期退職です。数週間で辞めてしまう学生も少なくありません。この原因の一つが求人サイトの情報量の少なさです。求人サイトに掲載される紹介文は企業側が考えるものであり、仕事内容などは大雑把にしか書かれていないことが多くあります。そのため、学生はお客としてその店に訪れた時のイメージや漠然とした憧れなどを理由に応募しがちです。これではミスマッチが起こっても仕方ありません。

そこで、実際にKumarismメンバーが飲食店で職場体験を行い、専用のサイトに記事を掲載します。飲食店に限定する理由は、大学生のしているアルバイトの内容は「飲食店」が最も多く51.9%²⁾であり、Kumarismとしても飲食店であれば観光記事の執筆も可能なためです。また、アルバイト体験をするKumarismのメンバーは文系理系や男女を混ぜることにより、複数の視点から記事を執筆することができます。

実際に学生がそのお店で職場体験を行い、記事を執筆することで、学生側は学生の生の声を知ることができます。

(2) 求人サイトを利用していない飲食店の人手不足

求人サイトを利用していない飲食店では張り紙や学生同士の紹介などでしか求人募集をすることができません。学生が必死にアルバイトを探している姿を見かけることも少なくありません。求人サイトの掲載料を理由に求人サイトの利用を渋っている飲食店が多いようです。

我々が提案する求人方法は全てボランティアで行っています。Kumarismメンバーが取材兼職場体験を行うことで、私たちは無料で取材し、お店側は無料で大学生への求人募集ができるWin-Winの関係を築くことができます。

3. 課題解決策の特徴、重要性、有効性

(1) 学生独自のネットワーク

この手法の大きな特徴が求人を学生が行うということです。学生が求人を行うことで学生独自のネットワークを活用することができます。大学生に有益な情報を提供するSNSアカウント、例えば学祭や生協の組織部のTwitter等と連携することで、大学生と距離の近いアルバイト仲介役を担うことができます。こうすることで、大手求人サイトにも劣らない効率の良い求人募集を行うことができます。

(2) Kumarismの活動との連携性

Kumarismとしては、取材費用がかからない。取材先の飲食店は、求人募集のコストを抑えることができる。Kumarismと飲食店の双方ともメリットがあります。また、アルバイトを探す学生にとっても、店内の雰囲気や店員の人柄が伝わるような写真付きの記事を見ることで、自分に合った職場を見つけることが可能です。利益目的の企業ではなく、ボランティアとして取材を行うKumarismの特徴を活かした事業だと言えます。

4. 課題解決策の具体的な手法

図2に課題解決策の具体的な手法を示しています。まず、Kumarismが取材のアポ取りの段階で求人募集に困っていないかを尋ねます。もし困っていれば取材と同時に職場体験もさせてもらえないかと提案させていただきます。そして、実際に取材、職場体験を行い、Kumarismのホームページに取材情報を、専用ページに求人情報を掲載します。その後、学祭や生協の組織部のTwitter等と連携し、情報を拡散します。

求人募集希望の飲食店を見つける方法としては、現在アルバイトしている大学生のアルバイト先に直接尋ねる、SNSでこの活動をシェアして飲食店からの連絡を待つなども考えられます。

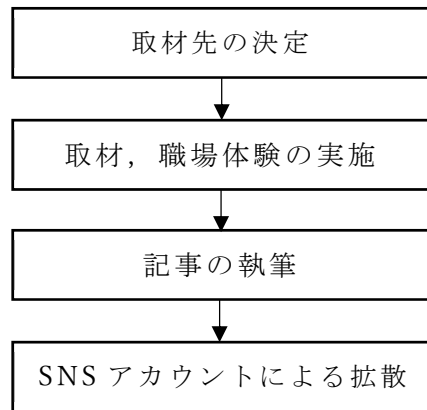


図 2 提案手法手順

参考文献

- 1) マーケターのための学生総合研究所／【大学生の実態調査】Web でアルバイトを探す学生は約 5 割. 学生の仕事の探し方って？
<http://lab.oceanize.co.jp/working-how/>
- 2) 愛媛銀行・大学生の生活実態に関する調査結果について
http://www.himegin.co.jp/stockholder/news/2016/20170201_1.html

(2017. 10. 30 受付)